

平成22年4月8日

## 福知山FM放送 第13回番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成22年3月30日(火)午後6時～

2. 場所 京都府福知山旭が丘111番地  
北関西IITメディアセンター福知山2F セミナールーム

3. 出席状況 総委員数 9名  
出席委員数 5名  
出席委員の氏名 大槻敦巳 委員  
梶村誠悟 委員  
藤田佳宏 委員  
藤原公子 委員  
松田 規 委員

放送事業者側出席者名

代表取締役社長 松井喜久夫  
局長補佐 水寫孝彦

4. 議 題 1) 福知山FM放送局概況報告  
2) 放送番組全般に対するご意見  
3) 来年度 新番組審議委員について  
4) 次回番組審議会の開催日時について  
5) その他

5. 議事の概況

- 1) 代表取締役社長 松井喜久夫より、前回審議会以降の概況報告が行われた。
- 2) 各委員より放送番組全般に対する意見が出され、それぞれ代表取締役社長松井喜久夫が答申した。
- 3) 来年度番組審議委員を確認し審議委員長の選出が行われた。
- 4) 次回番組審議会の開催日時について協議がなされた。
- 5) その他、代表取締役社長松井喜久夫より今後の放送展開についての説明が行われた。

## 6. 審議の内容

### 1) 福知山FM放送局概況報告

代表取締役社長松井喜久夫より前回審議会以降の概況報告が行われた。

- ・FMキャッスル2周年記念番組について

平成22年3月3日 FMキャッスル2周年記念として、これまでの番組の編集編や中継を交えながら生放送。

- ・無線設備点検体制の見直しについて

社内の者が第1級陸上無線技術士の資格を取得。平成22年3月6日に無線従事者を変更し、社内の管理体制を整えた。

- ・iPhone・iPod touchでのサイマル放送について

平成22年3月24日からiPhone・iPod touchによるサイマル放送を開始。

今後も情報発信の仕組みづくり情報の整理・活用を行っていく

- ・今後の通信・放送の法体系改正について

より今の時代に合わせた法改正となるため、こういった部分も見合せながら新しい番組作りを検討していかなくてはならない。

### 2) 放送番組全般に対するご意見

大槻委員長の議事進行のもと、各委員が前回審議会以降の放送番組全般に対する意見を述べた。

出された意見及びその答申は以下の通り。

(委員) ふるさと季行を使って、何か新しい展開ができないかと考えたとき、自治会ごとにお祭りがいつある等の素材をもとに、福知山ふるさと歳時記のようなものがないかなと思う。俳人協会にこの話をしたら非常に興味を示されていて、市民と放送局がコラボレーションしながらのプロジェクトとしては良いのではないかなと思う。番組で放送した音声は今も残っているのか。

(事務局) 生放送の音声は定められた期間は残している。収録したものについては全て現在も残っている。市民と放送局のコラボレーションについて、地域団体・企業の皆様のご協力を頂きながら進めていけたらと思う。

(委員) 音楽を流すときに、著作権上いろんな制約あると思うが、例えば、お琴とか尺八で演奏したものを放送することはどのように扱われるのか。文化的な発信をしていく際に気になっている部分である。

(事務局) 著作権、著作隣接権、著作権の消滅などの概念が複雑であり、慎重に扱ってい

く必要がある。

3) 来年度 新番組審議委員について

来年度の番組審議委員について、委員名簿を確認。総委員数は7名となる。  
来年度の番組審議委員長に松田規委員が推薦され全員一致で承認された。

4) 次回番組審議会の開催日時について

大槻委員長の議事進行のもと、次回番組審議会の開催日時について協議した結果、  
平成22年5月25日(火)に決定した。

5) その他

代表取締役社長松井喜久夫より、今後の放送における展開について説明が行われた。  
大槻委員長が閉会にあたっての挨拶を行い、第13回番組審議会を閉会した。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

特になし

8. 審議機関の答申または意見の概要の公表

事務所に備置き	平成22年	4月	8日
ホームページに掲載	平成23年	2月	21日

9. その他

特になし